

高齢者への支援の推進

アナ： 「市長が語る 2017 三島」第 24 回の今日は、「高齢者への支援の推進」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 日本はかなり以前から超高齢社会になっていると聞きます。三島市ではどのような状況でしょうか。

市長： 人口のうち 65 歳以上の高齢者が占める割合のことを「高齢化率」と言いますが、それが 21%を超えますと超高齢社会と呼ばれます。三島市では 6 月 30 日現在、65 歳以上の方が 30,910 名、高齢化率で申しますと 27.8%になり、まさしく超高齢社会という状況になっております。

アナ： 高齢化率が高まる中で、「高齢者への支援の推進」が重要になってくるのですね。

市長： そうですね。時代が変わっていく中、社会情勢や生活スタイルの変化に呼応するように、高齢者の皆様が抱える問題なども、複雑化・多様化してきていると感じています。

そのため、いわゆる団塊の世代が 75 歳以上を迎える 2025 年、平成 37 年を見据え、気軽に相談ができる体制づくりを進めていきたいと考えています。

アナ： 具体的な取組がありましたら、教えていただけますか。

市長： まず、今年の 5 月 1 日に三島市医師会の協力のもと「三島市医療介護連携センター」を、南本町のメディカルセンター隣にあります医師会館内に開設しました。

アナ： そこではどのような相談に乗っていただけるのでしょうか。

市長： 連携センターには看護師とケアマネジャーの両方の資格を持った「在宅医療コーディネーター」が常駐しており、病院から退院する際、主治医がいない方などに在宅医療を行う医師を紹介したり、家族をご自宅で看取りたい方への相談にも対応しています。

アナ： 在宅で医療が必要な方への相談に乗ってもらえる、ということですね。電話でも相談はできるのでしょうか。

市長： もちろん電話相談も受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。電話番号は 972-0712 です。ご利用についてご不明な点があれば、市の長寿介護課にお問い合わせください。

アナ： その他の取組にはどのようなものがありますか。

市長： 介護保険制度について、複雑でわかりにくいと以前から私も感じておりました、介護認定のことや介護保険サービスのことなどについて、適切な説明をし、適切なサービスに繋げていくための「高齢者総合相談窓口」を長寿介護課内に設けました。

アナ： 実際に保険を使おうとする時にならないと、介護保険って縁がないように思いますので、相談窓口ができたのはとても心強いですね。

市長： そうですね。相談窓口には「シルバーコンシェルジュ」を配置しています。介護保険制度に詳しい職員ですので、お気軽にご相談いただければと思います。

それと、「街中ほっとサロン」についても、ちょっとお話させてください。

アナ： ほっとサロンは、以前にも市長からご紹介をいただきましたね。

市長： そうですね。市役所中央町別館の道路をはさんだ隣にあるサロンですが、悩み事や困りごとなど、何でも気軽に相談できる場所として平成24年に開所してから、随分皆さんにご利用していただけるようになりました。お買い物などの途中で気軽に立ち寄れる雰囲気ので、職員も常駐しており、相談はしっかりと受けられますので安心してご利用ください。

アナ： ぜひ皆さんに立ち寄っていただきたいですね。ほかにお褒めのお話がありましたらお聞かせいただけますか。

市長： まだまだお話ししたいことはたくさんあるのですが、各種相談窓口につきましては広報みしま6月1日号や三島市のホームページにも掲載しておりますので、そちらをご覧くださいと思います。

また、相談体制以外にも、地域で気軽に立ち寄ることができる「居場所」づくりの支援や、介護が必要とならないようにする介護予防活動の推進、認知症に関する施策の拡充といったことにも力を入れております。

団塊の世代が75歳以上を迎える2025年を見据えまして、高齢者の方々が病気になっても介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活してもらいたいと考えています。それを実現するための取組を、地域の皆様と手を携えて進めてまいりたいと思っておりますので、今後とも市民の皆様のご理解、ご協力のほど、お願い申し上げます。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。